

議会運営委員会は6名で構成し、正副議長を除く会派人数・無会派議員数2〜3人で1人選出。

また町のホームページで議長交際費や政務活動費を公表。

議会の生中継も行っており、記録映像配信や生中継映像配信はパソコン版、スマホ版の2種類のアクセスが可能。

行政視察は選定基準を設けるなど、各委員会の費用弁償額が決められている。

本視察では議会運営のみならず、議員活動全般にわたり幅広く研修を行うことができた。

今後、本町においても議会改革を検討し、参考にしていきたい。



- ⑦ ページ余白に無駄がなく「用語解説」に有効活用されている。
- ⑧ 質問、答弁は質問者本人が校正し、委員会で精査。

【小川町議会】

平成28年度「町村議会広報全国コンクール編集・デザイン部門奨励賞受賞」

全面リニューアルした際に、委員の若い感覚は「軽すぎる」と言われたが、これまで読まなかった世代にも読まれる効果が生まれた。

主な手法

- ① 一般質問は読まないとわからないものではなく、「見てわかる」という意識で作成。
- ② 2〜3ページ目には、特に読んでもらいたい記事を載せる。
- ③ 写真が大きく、キャプションで内容がわかる。
- ④ 質問者本人に、写真キャプションなど原稿依頼。
- ⑤ 住民参加コーナーを設けている。

寄居町、小川町とも、印刷業者も参加して作成をしている点が一番大きいと思われるが、いずれも「住民目線」「読まれる広報紙」を常に意識している。本町も新しい委員が加わり、新鮮な気持ちで、住民に親しまれる「議会だより」を目指す。

- ① 矢勝川除塵機は平成30年2月までに設置完成する。
- ② 耐用年数は約30年。

